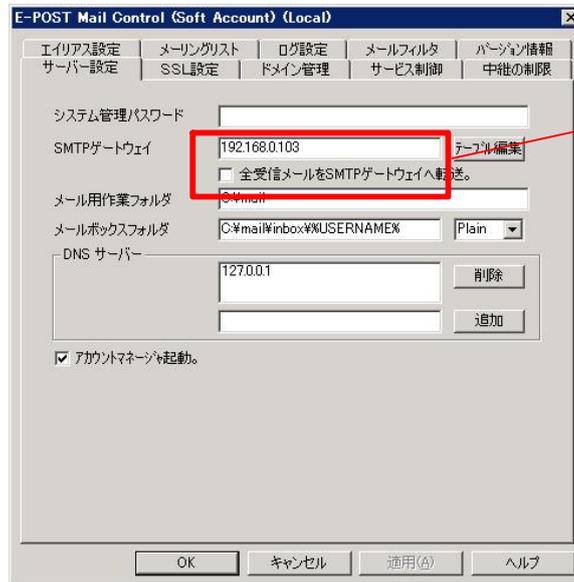


## 技術資料:ゲートウェイ位置に設置するメールサーバで 特定アカウントのみ POP 受信する方法について

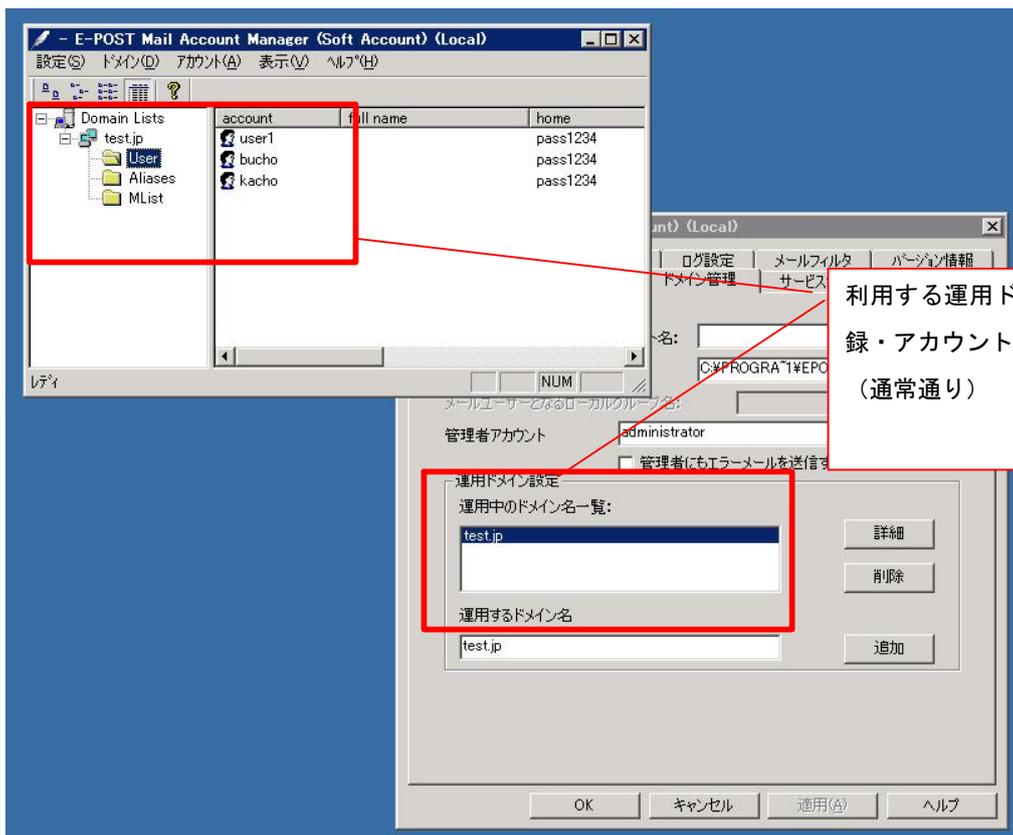
前段のゲートウェイ位置に設置するメールサーバで、通常アカウントはすべて後段のメールサーバにリレーする一方、特定アカウントのみメールボックスに入れ、POP 受信させるには、次のように行います。

### [1] 後段位置に立てる通常設定の E-Post Mail Server

(ライセンスはアカウント,エイリアスなどの総合計) (マシンの IP アドレス例…192.168.0.102)



フォワードするゲートウェイ（前段位置に立てる E-Post Mail Server 50user 版）を指定する。  
チェックボックスはオフのまま。



利用する運用ドメインを登録・アカウントを登録する（通常通り）

## 121 前段のゲートウェイ位置に設置する E-Post Mail Server

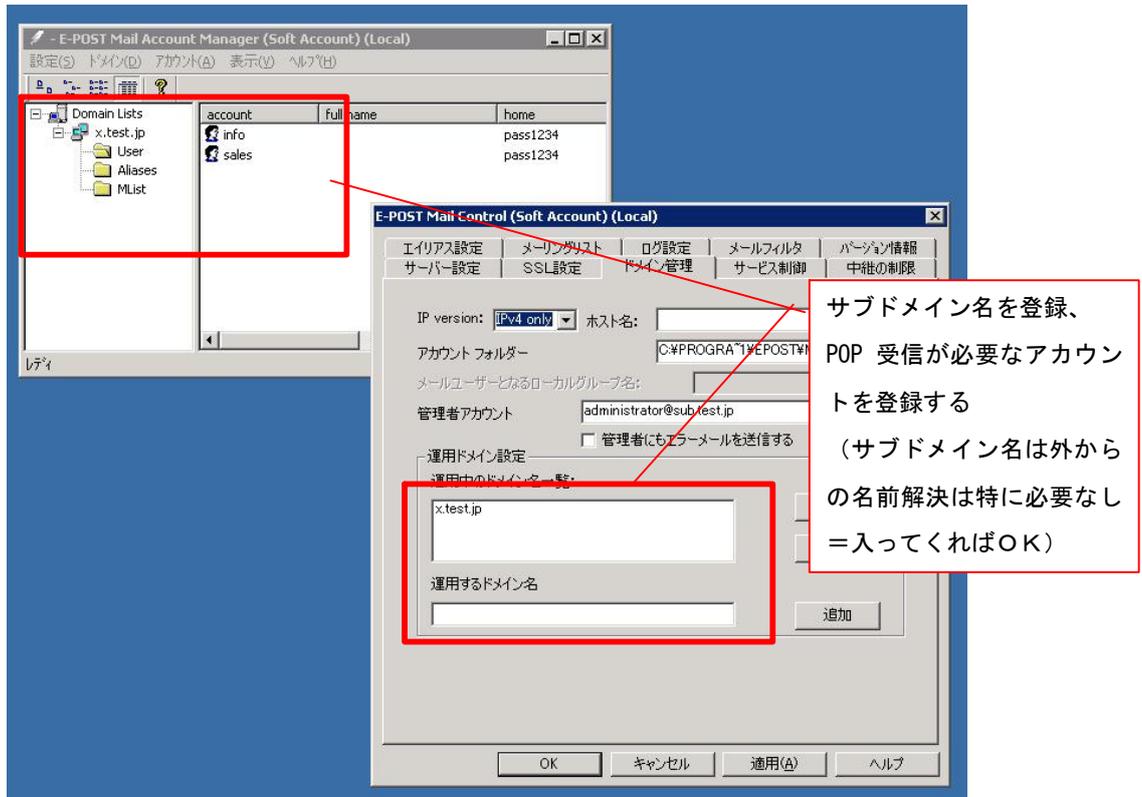
(※ライセンス数は 50user 版で OK) (マシンの IP アドレス例…192.168.0.103)

The screenshot shows the 'E-POST Mail Control (Soft Account) (Local)' window. The 'SMTPゲートウェイ' (SMTP Gateway) section is highlighted with a red box. It contains a text field for the gateway name, a 'テーブル編集' (Table Edit) button, and a checkbox labeled '全受信メールをSMTPゲートウェイへ転送。' (Transfer all received mail to the SMTP gateway). A red arrow points from the 'テーブル編集' button to the 'gateway.dat - メモ帳' (gateway.dat - Notepad) window. This window shows the format for the gateway.dat file, with a red box highlighting the example entry: 'test.jp,192.168.0.102,25'.

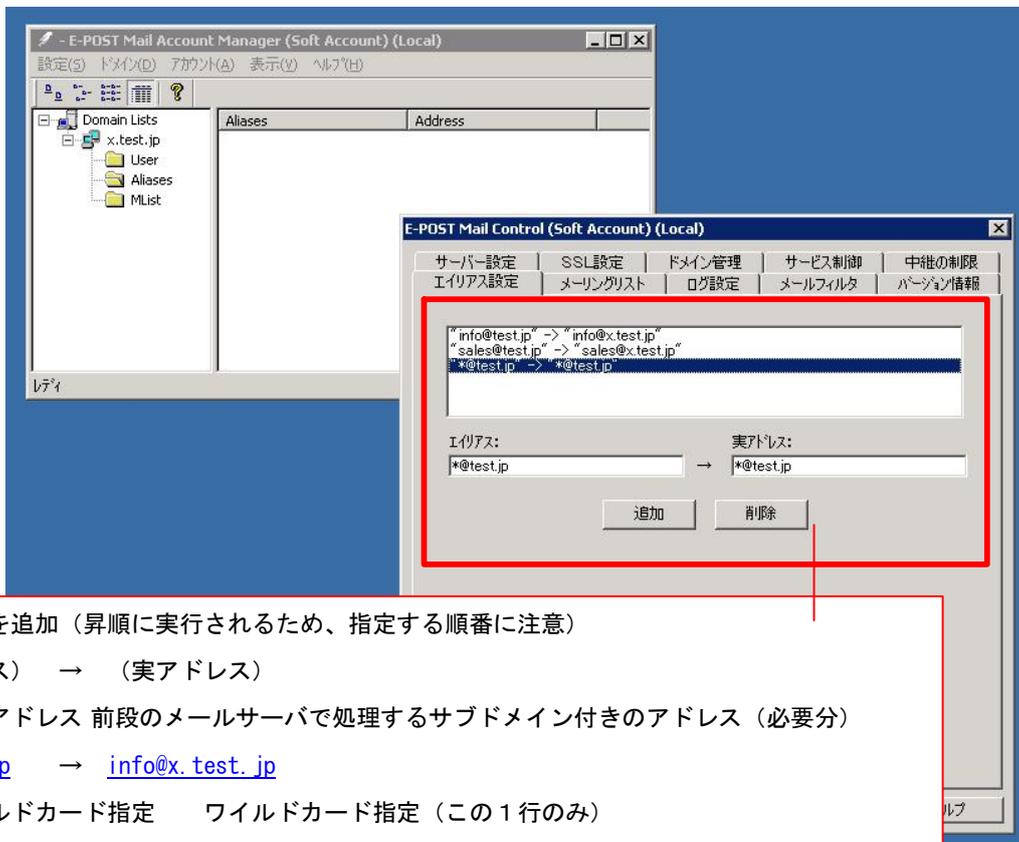
テーブル編集で gateway.dat を作成。  
「全受信メール・・・」チェックボックスはオフのまま。(オンにするとメールボックスにたまらない仕様)

### Gateway.dat の書式

[運用ドメイン], [振り分けるメールサーバの IP アドレス], [ポート番号]  
複数行指定も可。

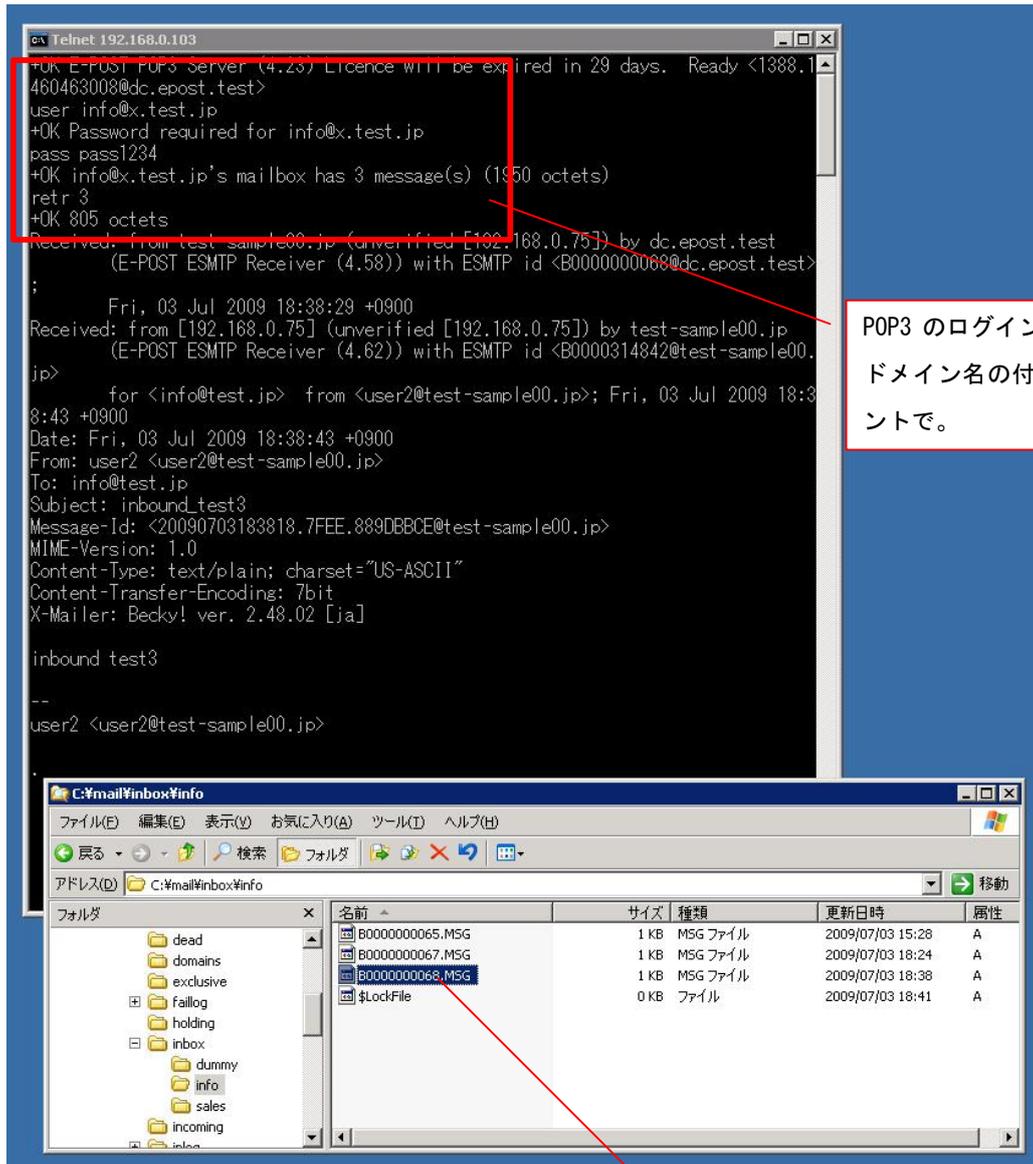


参考) 通常の単純な SMTP ゲートウェイのときは、ダミーアカウントだけを登録。



参考) 通常の単純な SMTP ゲートウェイのときは、最後のワイルドカード指定行のみ登録。

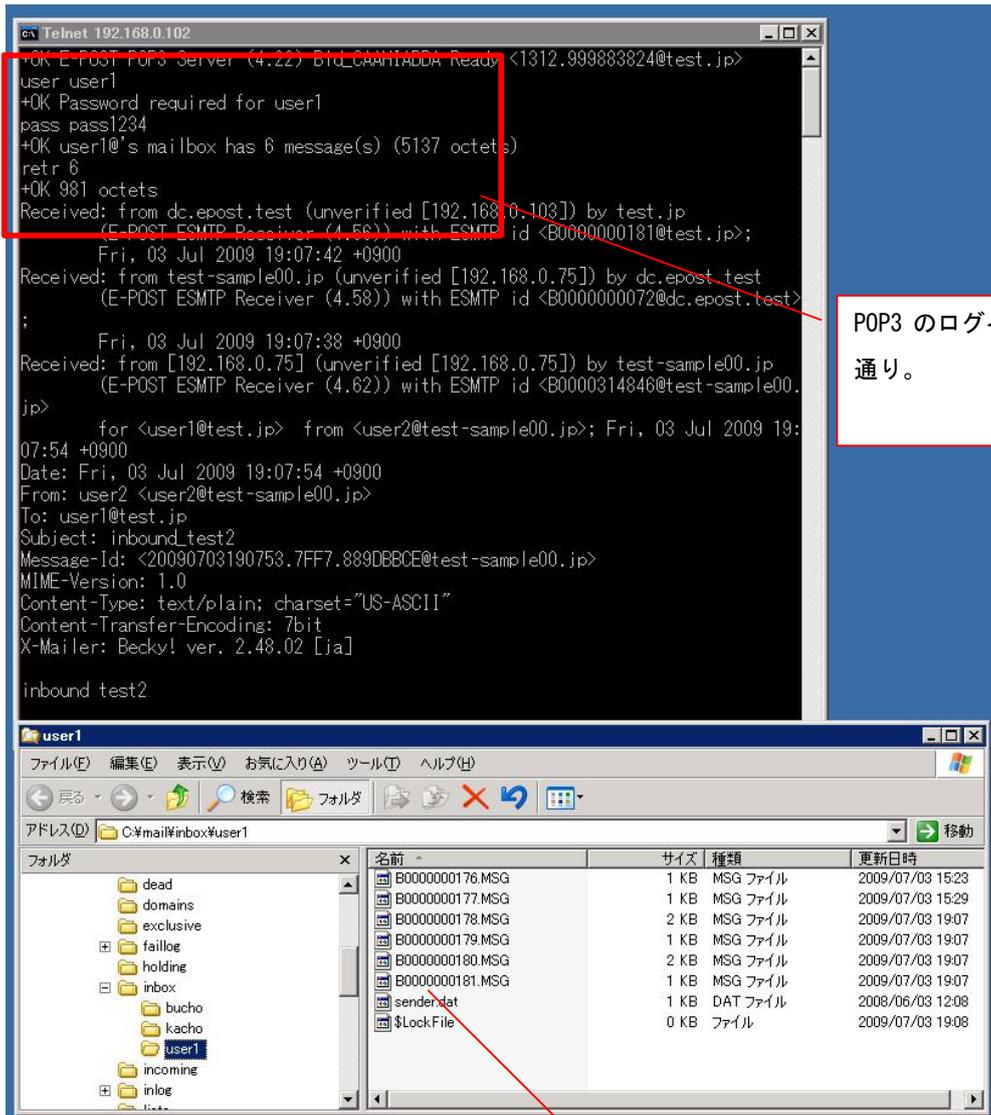
前段位置のメールサーバに登録されているアカウントのメールボックスフォルダにメールデータが入るかかどうかということと、POP3 で受信できるかを確認



POP3 のログイン ID はサブ  
ドメイン名の付いたアカウ  
ントで。

メールメッセージはメール  
ボックスに入る。

後段位置の既存メールサーバにインバウンドのメールがフォワードされてきているかを確認



メールメッセージはメールボックスに入る。